

藤岡市 議会だより



◆発行日 平成20年5月15日 ◆発行 藤岡市議会 ◆編集 藤岡市議会だより編集委員会 ◆印刷 朝日印刷工業株式会社
◆藤岡市ホームページ <http://www.city.fujioka.gunma.jp/>

第42号



桜山森林公園

3月定例会の あらまし

定例会は、2月29日から3月14日までの15日間の会期で開催されました。

平成20年度藤岡市一般会計予算についてなど58議案が提出されました。

◇29日〓本会議 会期の決定。議案58件を上程、うち43議案を即決。

◇3日〓教務厚生常任委員会。

◇6・7日〓予算特別委員会。

◇11日〓本会議 一般質問。

◇14日〓本会議。委員会付託議案15件を可決。

議員提出追加議案1件を即決。

3月定例会

一般質問

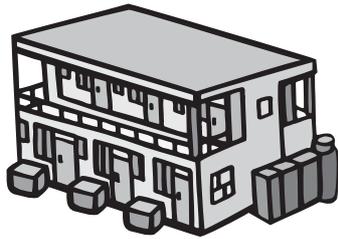
借り上げ型市営住宅の導入について

湯井 廣志

問 民間の安くて新しいアパートに入りたいが、所得が少ないので入れない。市営住宅に入りたいが、いつまで待っても入れない。民間の市街地のアパートは高くて入れないので、市外の安いアパートを探して一時的に住んでいると言う話をよく伺います。現在、民間では、市街地に近代的で良好な環境の中で、交通の便の良い所に次々とアパートが建設されています。民間のアパートを市で借り上げ、市営住宅として使用し、公営と民間の差額を行政が負担する制度があり、全国の自治体ではこの制度の利用が増えています。市街地における賃借の優良住宅が増える事によって、中心市街地への人口集積、それに伴う商店街の活性化が図れ、民間活力導入による建替え・市の建設投資リスクの

軽減などが期待されます。藤岡市で、このような制度を導入すべきであると考えますが伺います。

答 今まで藤岡市は、自ら市営住宅を建設することが主眼にしておりましたが、新たな市営住宅を建設するには、多額の支出を伴います。議員ご指摘の民間アパートを公営住宅として借り上げる事も、今後考えていかなければと認識しています。



公園区域内の溜池の浄化について

庚申山総合公園内

問 庚申山総合公園内にある溜池は、水の流れがなくて、近年大量のアオコが発生したり、池の生物に悪影響が発生し、公園の景観を損ねています。水が流れていけばアオコの発生を抑制することができます。水の流れを作るために噴水を設置する考えはないか伺います。

答 この溜池は、水の循環がないために、近年、臭いやアオコの発生などが見受けられます。水辺に暮らす様々な動物の生態系の健全化や水質の浄化また水域と周囲の景観をなじませ、楽しい空間を演出する事ができる公園としての景観向上の配慮も必要と思ひ、実施に向け考えております。



情報通信基盤整備 について

岩崎 和則

問 藤岡市鬼石52局の高速通信網の整備の進捗状況を伺います。

答 NTT東日本との協議において、採算性の問題から民間による整備は今の段階では考えていないとの回答があり、整備推進にブレーキがかかった状態となっています。全世帯の35%程度の加入を目標としたブロードバンド誘致のための活動を支援するとともに、鬼石地域において官民一体となった活動を展開する事を考えています。

問 地上波デジタルテレビの鬼石中継局（設置年度が2008年度）への群馬テレビの参局についての進捗状況を伺います。

答 群馬テレビに、同施設への放送設備の配備を要望しているが、放送局の財

政力不足から難しい状況であります。県の方針は、平成19年度の国庫補助制度を取り入れ、整備することを決定。しかし鬼石局については国庫補助の対象にならないので、国への理解を求め、なるべく申し出をしております。

藤岡女子高等学校 跡地の大学誘致に ついて

問 土地の取得価格は市で所有する藤岡警察敷地（約1億8000万円）を差し引いた後、25%の減免措置を受けた約4億7452万5000円、これを土地開発基金で取得するのかわかります。

答 あくまで概算金額であり、今後、詳細協議を行い、額が決定次第、報告する予定であります。

問 貸与条件は『4年間は無償、その後、5年目から有償である』と聞いたが、

5年目以降の貸与の条件を伺います。

答 大学の運営が充実する5年目以降、基準等に基づき賃貸料を徴収すること、で現在協議中であります。

問 昌賢学園の開校予定を伺います。

答 昌賢学園と協議し、平成22年4月開校予定です。

問 大学誘致に対して、建設資金の協力等の申し出があった場合、藤岡市の対応を伺います。

答 学園からの建設資金協力等については、援助等の補助金は、予定しておりません。

新規工業専用地域 指定について

青柳 正敏

問 群馬県企業局へ開発申請をした三本木地区は、

採算に合わないとの理由で断られた。この時点で既存工業専用地域の積み出しを含め再検討を。また、藤岡市独自の開発となれば、財政健全化を推進している中、重要課題として造成費を調査検討をしなければならぬのか。関連公共施設整備については一般会計負担と思うが、検討されたのか。高低差14メートル、また、遺跡の分布指定地域が6割占め高圧線が2本走っているがどう評価し検討しているのか。価格が提示されたが用途変更に対しての同意なのか伺います。

答 適地という事では群馬県も認識していたと思う。土地開発公社は市道約1700メートルの改良、鮎川放水路迄の約1800メートルの排水路の設置経費は一般会計を投入する事を決定した。段差をつけない区画、また、最初から分譲価格にも考慮して考えています。単価については納得した上での開発同意と、解釈しています。

雨水排水対策について

針谷賢一

問 国道17号線バイパスと県道前橋長瀬線との交差点付近及び中島地区、立石地区の用水路の改修について伺います。

答 交差点付近の雨水対策については、平成19年度に測量調査を実施しました。国道17号線を管理する国土交通省及び県道を管理する群馬県と現在協議中であり、今後につきましては、平成20年度に1件用地買収を予定しております。買収及び協議が終了次第、平成21年度より工事の実施をして行きたいと思っております。工事内容は、寺田電機MLT工場東側を起点として、県道前橋長瀬線を横断して国道17号線バイパスまで延長140メートルの間に、2メートル掛ける2メートルのボックスカルバートを布設がえします。また、中島地区、立石地区の用水

路については、中村堰土地改良区5号幹線水路であり、地元の中島水利組合が農業用水路として管理しています。既設の断面は狭小な事から、降雨時の氾濫による農地、宅地への浸水が、地域の懸案事項でありました。

本水路については改修が急務であると認識しております。農政の補助事業を活用し、平成20年度、平成21年度の2ヶ年で改修を完了する予定です。

社会教育施設に対する民間活力の導入について

問 公民館運営に民間活力を導入した場合の課題及び市の考え方について伺います。

答 公民館の民間活力の導入の課題は、単に施設管理だけでなく、各種教室や講座などの事業実施により、社会教育や生涯学習推進の役割があります。従っ

て運営は、地域ごとの実態を踏まえ、運営委員会や利用者団体の理解と協力が得られる事が必要です。また、運営を任せられる人材の発掘も必要となります。民間活力の導入につきましては、地域との協働をいかに進めるかが重要と考えています。公民館は地域の社会教育の核となる施設であり、地域の方からの期待に十分こたえ、活力のある公民館となるよう努力していきたいと考えています。

後期高齢者医療制度について

渡辺徳治

問 後期高齢者医療制度は、2006年、自民党・公明党が強行した医療改革法で導入が決まりました。この4月1日から75歳以上の高齢者は、これまで加入していた国民健康保険や健康保険組合から脱退させられ、新しくできる後期高齢

者だけの医療保険制度に組み入れられます。現行制度と大きな違いは、保険料の年金からの天引きです。また問題は、後期高齢者の診療を制限する事を検討している事です。実施されると75歳以上の人は、診療の内容も差別されるようになります。後期高齢者医療制度は、75歳以上の人を今までの医療保険から切り離し、保険料の取り立ては強化しながら、診療内容に格差をつけることを狙ったものと考えているが、4月1日からの変化について伺います。

答 後期高齢者医療制度に関しては、独自の診療報酬体系を構築する事とされておられ、後期高齢者の心身の特性等にふさわしいものとして、平成20年4月の施行に向けて検討が進められています。

藤岡女子高等学校跡地利用について

問 第4次総合計画に

は、大学誘致という設問もなければ、市民からの要望・希望も出ていません。今後、多額の金額を支出することになるわけですから、重点施策と同様にアンケートやパブリックコメントを実施すべきだと思いが伺います。

答 藤岡市としては、大学の学部設置の話があり、大学の機能が、地域社会への還元等さまざまな部分で波及効果があるのだという事で、この大学誘致に進んだものです。この件について改めて誘致するかどうか、市民の意見を伺う計画は現時点ではございません。

問 群馬県との契約、大学との契約の内容については、6月議会までに示すと説明がりましたが、地代の額についてどのような腹づもりなのか伺います。

答 4年制の大学の運営が充実をいたします5年目から、基準に基づき賃料を徴収する事で現在協議中です。

インター周辺の開発について

渡辺新一郎

問 インター周辺の今後の具体的な開発計画、進捗状況、また藤岡市が行っている藤岡IC周辺地域整備構想検討委員会での途中経過等を伺います。

答 藤岡インターチェンジ周辺開発については、昭和55年インター供用開始以降、藤岡市の発展のキープポイントとして各種の整備構想計画の検討を行い、平成12年、ららん藤岡を核とした整備が行われました。高速交通網の整備の進捗状況等を踏まえ、もう一度インターチェンジ周辺地域のあり方を検討すべきと考え、平成19年1月、群馬県に協力要請を行い、藤岡IC周辺地域整備構想検討委員会及びその下部組織「ワーキンググループ」を設置し、調査検討を行い、検討結果を平成21年3月までに県知事、市長へ報告する事になっています。

問 インター周辺の企業の誘致について、どのような企業で決まっていたら伺います。

答 具体的な企業は決まっておりません。

介護保険について

窪田行隆

問 少子高齢化が進むと税収が減る一方で、福祉、医療、介護の需要が増加、そのため介護予防により高齢者が自立して元気に暮らせるよう支援する必要があります。今後、介護予防事業に対する藤岡市の取り組みについて伺います。

答 現在実施している事業の充実を図りながら、ボランティア活動等による社会参画への推進と、高齢者が元気に暮らしていける地域づくりに努め、効果的な事業について研究し、積極的に取り入れていきます。

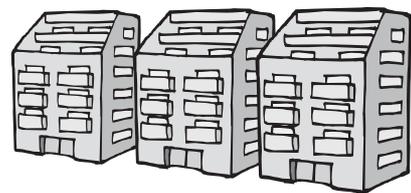
問 介護支援ボランティア制度は介護予防事業として国が進めているもので、高齢者自身が介護施設などでボランティア活動を行い、活動実績に応じてポイントが獲得でき、介護保険料の支払い等に当てられるため、負担軽減にもなります。また社会参加することで本人の介護予防となり、元氣な高齢者が増え、地域活動も盛んになれば、地域社会全体にプラスになります。導入する考えがあるか伺います。

答 高齢者のニーズに合わせたボランティア活動を実施するには、組織体制づくりなど様々な課題があり、今後、検討します。

市営住宅について

問 市営住宅には一部を除いて風呂が無く、入居者が購入して持ち込み、退去する時に処分する事が求められています。入居者にとって大きな負担でありま

答 既存市営住宅への風呂の設置については、多額の予算が伴うため、その実施方法を含めて検討します。今後新設する市営住宅には風呂を設置したいと考えています。



す。藤岡市内の県営住宅は全戸に風呂があり、今後県内全てに設置されることになっていきます。市営住宅にも市の負担で、入居者の入れ替えの際に順次風呂を設置すべきと考えます。また今後新規に建設する市営住宅には設置するのか併せて伺います。

一般質問

防災対策について

齊藤千枝子

問 災害時に自らの身を守る事が困難な高齢者や障害者などの災害時要援護者名簿を作成しているのか伺います。

答 本人の同意をいただく同意方式で進め、7月を目途に作成できる予定です。

問 ハザードマップ作成、また要援護者の支援体制を整えなければなりません。が伺います。

答 ハザードマップ作成については、国や県の調査結果を踏まえ、平成21年度に洪水及び土砂災害について策定予定です。危険区域内の災害時における要援護者の避難については、一時的な避難だけでなく、医療の必要な程度から、関係機関への搬送ができる体制が必要と考えます。

問 自主防災組織の強化を図るべきと考えるが伺います。

答 消防団OBや看護師など、持っている知識や技術を生かす事ができれば、被害の防止、軽減につながると思います。専門的な役割の確保や育成について、各地区の自主防災組織と連携を進めたいと思います。



市議会を傍聴しよう

議会は3・6・9・12月の定例会と随時の臨時会が開かれます。

傍聴希望者は、市役所2階議会事務局前の傍聴人受付へ申し込んでください。

問い合わせは

市議会事務局 (☎②1211内線2361) へ

◎掲載してある一般質問は要約してありますので、詳しくは藤岡市のホームページや図書館・市役所相談室で会議録（6月上旬公開予定）をご覧ください。

編集後記

新緑の匂い立つ、さわやかな季節となりました。平成20年第1回定例市議会において、平成20年度一般会計予算をはじめ13特別会計予算が可決され、また、一般質問では8名の議員から、借上げ型市営住宅、情報通信基盤整備、新規工業専用地域、雨水排水対策、後期高齢者医療制度、藤岡女子高等学校跡地利用、インター周辺開発等、市民生活に直結する問題について活発に質疑応答が行われました。

「議会だより」も第42号となり、市民の皆様へ議会活動がより一層ご理解をいただけるような、わかりやすく読みやすい「議会だより」にしていきたいと思っております。今後とも、よろしくお願いたします。

委員長 齊藤千枝子
副委員長 青木貴俊
委員 渡辺徳治
湯井廣志
冬木一俊
佐藤淳
反町清
吉田達哉

教務厚生常任委員会所管調査報告

調査年月日 平成19年7月27日（金）午後1時より

【調査地選定理由】

学校施設は児童生徒の学習や生活の場であり、豊かな人間性を育むための教育環境として重要な意味を持つている。また、災害時における地域の人の避難場所としての役割を果たすもので、安全で安心できるものである必要がある。大災害に耐えられる建物であることが望ましい。藤岡市では学校耐震化推進指針の耐震診断3ヶ年計画により、平成18年度に市内の小・中学校施設耐震診断が終了し、耐震化補強優先度調査が行われた。本委員会としては、学校施設の実態を確認し、財政状況の悪化や少子化等の影響なども考慮し、今後の学校施設のあり方を調査するため、市内の2小学校と1中学校を選定した。

【調査結果】

〈藤岡第二小学校耐震補強について〉

藤岡第二小学校の普通教室のある校舎は、昭和37年の建設で築45年を経過している。増築により33年経過の校舎もあるが、増改築により校舎が分散し問題もあると思う。水道の配管図もはつきりしていないらしい。市の説明によると、合併特例債及び耐震の国庫補助で、大規模な耐震補強と改修をする計画とのこと。耐震の診断結果も踏まえ、新校舎の建設は難しいとのことである。

校舎を見学しての感想は、全体的に窓が小さく、腰壁が高く、出入りの引き戸も鉄であり、校舎全体が暗い

感じを受けた。児童数も700人と多く、少子化時代に大変うれしいことだと思ふ。大規模学校であるのに、トイレも古く使いにくそうであった。児童達のためにも明るく、きれいな校舎で勉強させたい。

〈鬼石小学校耐震補強について〉

鬼石小学校は昭和50年の建設で、築32年を経過している。鬼石小学校はここ数年児童数の減少が顕著で空き教室も多く見られる。3階建ての南・北の校舎2棟である。議会では児童数の激減も考える中で、新校舎の建築を要望する意見もあるが、藤岡第二小学校と同じように財政状況を考える補助金の付く耐震補強しか考えられないとの説明であった。今年度に設計委託

料も計上され、南校舎の解体も含め約4億円かかるということである。

南校舎は低学年棟として、テラスや教室の前には、花壇等も整備され腰壁も低い。北校舎を耐震補強・大規模改修することだが、何十年も先まで考え、この方法が最善であったといえるよう、児童を最優先に考えた学校を作ってほしい。



〈藤岡西中学校耐震補強について〉

西中学校は昭和47年の建設で、築32年を経過し校舎の耐震補強、大規模改修が始まっている。夏休みに集中して行う予定が、参議院議員選でやや遅れていた。

西中学校は最初の基礎工事の弊害か、校舎のひび割れや、窓が開かない等補修箇所も多い。廊下がゆがんでいるのには驚いた。大規模改修の必要性を感じた。受験を控えた生徒達に、迷惑のわからないよう工事を進めて欲しいと思う。



委員長	山田 朱美
副委員長	渡辺 新一郎
委員	松村 晋之
委員	茂木 光雄
委員	冬木 一俊
委員	佐藤 淳
委員	隅田川 徳一
委員	吉田 達哉

議案等審議結果〈3月定例会〉

番 号	件 名	結 果
市長提出議案		
報告1号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	報 告
報告2号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	報 告
報告3号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	報 告
報告4号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	報 告
諮問1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	異議なし（全員一致）
第 1 号	藤岡市等公平委員会委員の選任について	同 意（全員一致）
第 2 号	藤岡市地区コミュニティセンター等の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可 決（全員一致）
第 3 号	藤岡市職員の公益法人等への職員派遣等に関する条例の一部改正について	可 決（全員一致）
第 4 号	藤岡市福祉医療費支給に関する条例の一部改正について	可 決（全員一致）
第 5 号	藤岡市後期高齢者医療に関する条例の制定について	可 決（全員一致）
第 6 号	藤岡市特別会計設置条例の一部改正について	可 決（全員一致）
第 7 号	藤岡市国民健康保険条例の一部改正について	可 決（全員一致）
第 8 号	藤岡市国民健康保険税条例の一部改正について	可 決（多 数）
第 9 号	藤岡市コミュニティ・センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	可 決（多 数）
第10号	藤岡市近年難病患者見舞金支給条例の一部改正について	可 決（全員一致）
第11号	藤岡市介護保険条例の一部を改正する条例の一部改正について	可 決（全員一致）
第12号	藤岡市小口資金融資促進条例の一部改正について	可 決（全員一致）
第13号	藤岡市市営住宅管理条例及び藤岡市特定公共賃貸住宅条例の一部改正について	可 決（全員一致）
第14号	藤岡市山村活性化支援センターの設置及び管理に関する条例の全部改正について	可 決（多 数）
第15号	藤岡市集落農事集会所の設置及び管理に関する条例の全部改正について	可 決（多 数）
第16号	藤岡市立学校設置条例及び藤岡市奨学資金貸与に関する条例の一部改正について	可 決（多 数）
第17号	上町コミュニティセンターの指定管理者の指定について	可 決（全員一致）
第18号	三杉町コミュニティセンターの指定管理者の指定について	可 決（全員一致）
第19号	相生町コミュニティセンターの指定管理者の指定について	可 決（全員一致）
第20号	中町コミュニティセンターの指定管理者の指定について	可 決（全員一致）
第21号	本町コミュニティセンターの指定管理者の指定について	可 決（全員一致）
第22号	諏訪コミュニティセンターの指定管理者の指定について	可 決（全員一致）
第23号	根際コミュニティセンターの指定管理者の指定について	可 決（全員一致）
第24号	三波川第2コミュニティセンターの指定管理者の指定について	可 決（全員一致）
第25号	三波川第3コミュニティセンターの指定管理者の指定について	可 決（全員一致）
第26号	美原第3コミュニティセンターの指定管理者の指定について	可 決（全員一致）
第27号	坂原コミュニティセンターの指定管理者の指定について	可 決（全員一致）
第28号	宇塩山村活性化センターの指定管理者の指定について	可 決（多 数）
第29号	小平山村活性化センターの指定管理者の指定について	可 決（多 数）
第30号	妹ヶ谷山村活性化センターの指定管理者の指定について	可 決（多 数）
第31号	市道路線の廃止について	可 決（全員一致）
第32号	市道路線の認定について	可 決（全員一致）
第33号	平成19年度藤岡市一般会計補正予算（第4号）	可 決（多 数）
第34号	平成19年度藤岡市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第1号）	可 決（全員一致）
第35号	平成19年度藤岡市老人保健事業特別会計補正予算（第2号）	可 決（全員一致）
第36号	平成19年度藤岡市介護保険事業勘定特別会計補正予算（第3号）	可 決（全員一致）
第37号	平成19年度藤岡市介護老人保健施設特別会計補正予算（第1号）	可 決（全員一致）
第38号	平成19年度藤岡市学校給食センター事業特別会計補正予算（第1号）	可 決（全員一致）
第39号	平成19年度藤岡市下水道事業特別会計補正予算（第2号）	可 決（全員一致）
第40号	平成19年度藤岡市特定地域生活排水処理事業特別会計補正予算（第2号）	可 決（全員一致）
第41号	平成19年度藤岡市簡易水道事業等特別会計補正予算（第2号）	可 決（全員一致）
第42号	平成19年度藤岡市三波川財産区特別会計補正予算（第1号）	可 決（全員一致）
第43号	平成19年度藤岡市水道事業会計補正予算（第2号）	可 決（全員一致）
第44号	平成19年度藤岡市国民健康保険鬼石病院事業会計補正予算（第1号）	可 決（全員一致）
第45号	平成20年度藤岡市一般会計予算	可 決（多 数）
第46号	平成20年度藤岡市国民健康保険事業勘定特別会計予算	可 決（全員一致）
第47号	平成20年度藤岡市老人保健事業特別会計予算	可 決（全員一致）
第48号	平成20年度藤岡市後期高齢者医療特別会計予算	可 決（多 数）
第49号	平成20年度藤岡市介護保険事業勘定特別会計予算	可 決（多 数）
第50号	平成20年度藤岡市介護老人保健施設特別会計予算	可 決（全員一致）
第51号	平成20年度藤岡市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	可 決（全員一致）
第52号	平成20年度藤岡市学校給食センター事業特別会計予算	可 決（全員一致）
第53号	平成20年度藤岡市下水道事業特別会計予算	可 決（全員一致）
第54号	平成20年度藤岡市特定地域生活排水処理事業特別会計予算	可 決（全員一致）
第55号	平成20年度藤岡市簡易水道事業等特別会計予算	可 決（全員一致）
第56号	平成20年度藤岡市三波川財産区特別会計予算	可 決（全員一致）
第57号	平成20年度藤岡市水道事業会計予算	可 決（全員一致）
第58号	平成20年度藤岡市国民健康保険鬼石病院事業会計予算	可 決（全員一致）
議員提出議案		
第 1 号	道路特定財源の確保に関する意見書の提出について	可 決（多 数）
請 願		
第 6 号	「巨額の市税を注ぎ込み私立大学に半永久的に無償で貸す」という藤岡市の藤岡女子高校跡地利用方針を撤回し、活用については、市民の意見を聞き市民のための活用を県に働きかけることを求める請願	不 採 択（少 数）
陳 情		
第 4 号	子育て支援センター事業に対する補助金を求める陳情	趣旨採択（全員一致）